

令和3年6月

公立学校共済組合東北中央病院 地域医療連携室・入退院支援室

NO.53

TEL 0120-703-995 FAX 0120-168-990 代表 TEL 023-623-5111

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。

▷ 第18回 和GO懇話会

令和3年5月13日（木）山形国際ホテルで、「第18回和GO懇話会」を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者の皆様には消毒及びマスク着用のご協力をお願いし、会場内では座席間隔の確保と換気を徹底しての開催となりました。関係医療機関の先生方にご参集いただき有意義に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

一般演題

『糖尿病と創部感染について』

～当院での取り組みも含めて～

演者：糖尿病内科部長 岡村 将史 医師（写真左）

座長：循環器科医長 南幅 修 医師（写真右）



糖尿病治療の目標はこれまで「糖尿病に罹患していない人と変わらない寿命で生きること」とされてきましたが、最近は「糖尿病によるスティグマ（負の烙印）、差別を感じずに生活できるようにすること」が目標とされる流れに変わってきています。近年ではスマートフォンのアプリを活用することで血糖を観察できる仕組みが構築され、患者個々の生活に応じた治療が行いやすくなっています。糖尿病患者はそうでない人と比べ、一生のうちの手術の回数が多くなりがちで、また合併症を発症する割合も高くなる傾向があります。そのようなリスクを事前に回避するべく、整形外科手術の症例が多い当院における周術期管理について、糖尿病内科の視点からお話いただきました。

特別講演

『難治癌に挑む：膵癌外科治療の新展開』

演者：山形大学大学院医学系研究科医学専攻外科学第一講座

教授 元井 冬彦 先生（写真左）

座長：外科部長 橋本 明彦 医師（写真右）



腫瘍外科学において難治癌に対する治療には様々な問題があります。膵癌は5年後の生存率は極めて低く、難治癌の代表的な癌です。治療戦略としては、これまで切除可能であれば手術を実施し、切除不可能の場合は化学療法を行っていましたが、これからは切除可能なものにも術前治療（化学療法）を行うことが進んでいます。癌の進行度が早い段階から術前治療を用いた集学的外科治療を行うことで生存率も向上しています。山形大学では化学療法の更なる進歩として、重粒子線治療に取り組んでいます。手術動画や症例を交え、大変有意義な講演をいただきました。

今後も地域医療の発展のため、先生方の御要望をお聞きしながら尚一層の努力を重ねて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

